

相模原市新規収蔵美術品 カルピス株式会社から 岡本太郎氏作 壁画「初恋」寄贈

日本を代表する現代美術画家・故岡本太郎氏の大作タイル壁画「初恋」が平成27年12月1日、カルピス株式会社から市に寄贈され、12月8日に相模原市からカルピス株式会に感謝状を贈呈しました。

岡本太郎氏のモザイクタイル壁画「初恋」は、カルピス社相模工場の建設（相模原市企業誘致第1号）を記念して、創業者三島海雲氏が、親交のあった岡本太郎氏に、1961年（昭和36年）に制作を依頼したもので、操業当初から工場内に展示され、仕事や見学で工場を訪れる人々に長く親しまれてきました。このたび、広く市民のみなさまに鑑賞して欲しいとのカルピス社の意向により、市に寄贈されることとなったものです。

基礎的な修復と洗浄を行った後、平成28年1月下旬～2月上旬頃に、相模女子大学グリーンホールの大ホールロビーに設置する予定です。多くの市民に鑑賞していただくため、一般公開いたします。公開日・時間は、後日改めて周知させていただきます。



岡本太郎氏作・タイル壁画「初恋」

縦 240.0 cm × 横 444.5 cm

画像の著作権は公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団にありますが、壁画の寄贈・公開に係る広報のため、同作品画像の使用について許可を受けました。（平成27年12月8日～平成28年2月末日の間については、同目的のため、報道機関においても使用可能です。）

岡本太郎氏略歴：1911（明治44）年～1996（平成8）年 川崎市出身

昭和45年に開催された万国博覧会の「太陽の塔」の制作などで知られる現代美術家。

東京青山に岡本太郎記念館、川崎に川崎市立岡本太郎美術館がある。

問い合わせ先：

文化振興課 相模原市民ギャラリー

電話：042-776-1262

担当：栗城（くりき）